

第9次中期経営計画の進捗と 2021年度計画

2021年5月
日本ケミコン株式会社

1. 第9次中期経営計画の骨子と初年度実績

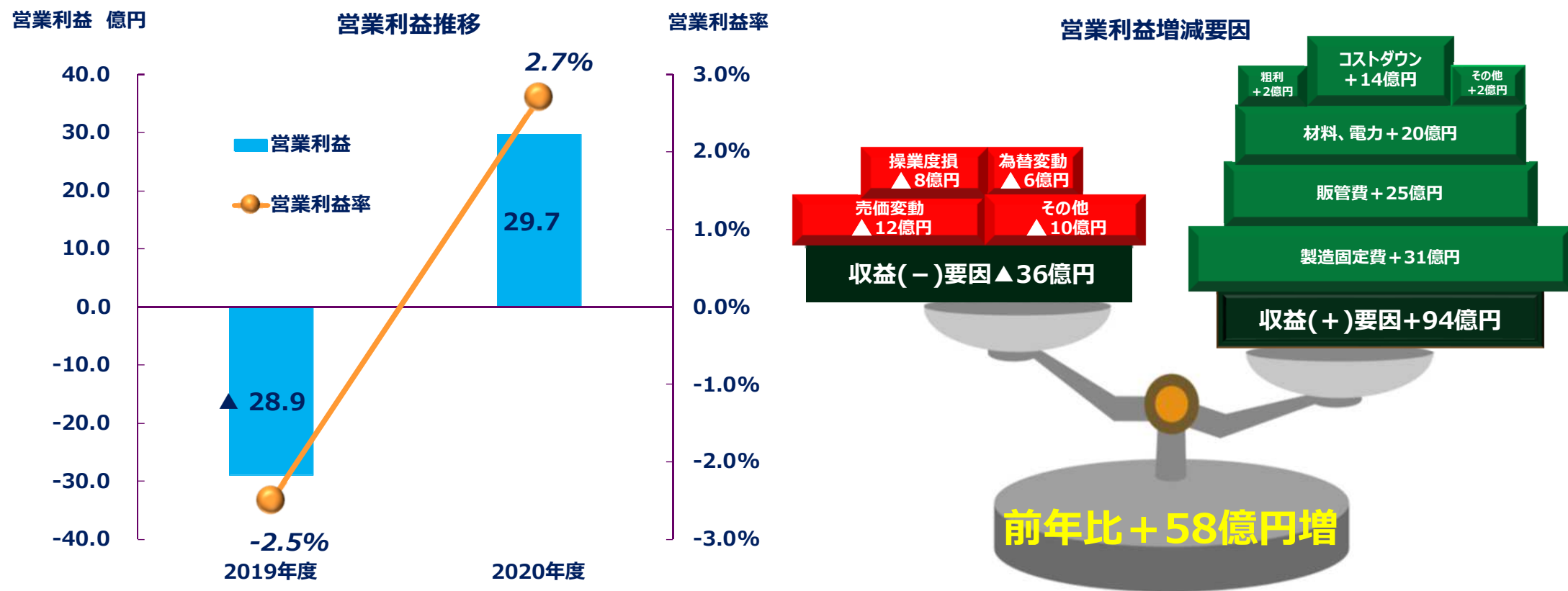
中計戦略	あらゆる経営環境の変化に柔軟に対応できる企業体質への転換
① 商品企画力強化による新商品投入と成長戦略明確化	商品企画改革
② 全社・全部門での生産性改革による利益創出	
③ 生産基地の再編と生産性改革による高コスト構造からの脱却	構造改革
④ スピード経営の具現化	

▶ 資産効率向上・固定費削減による財務体質の改善

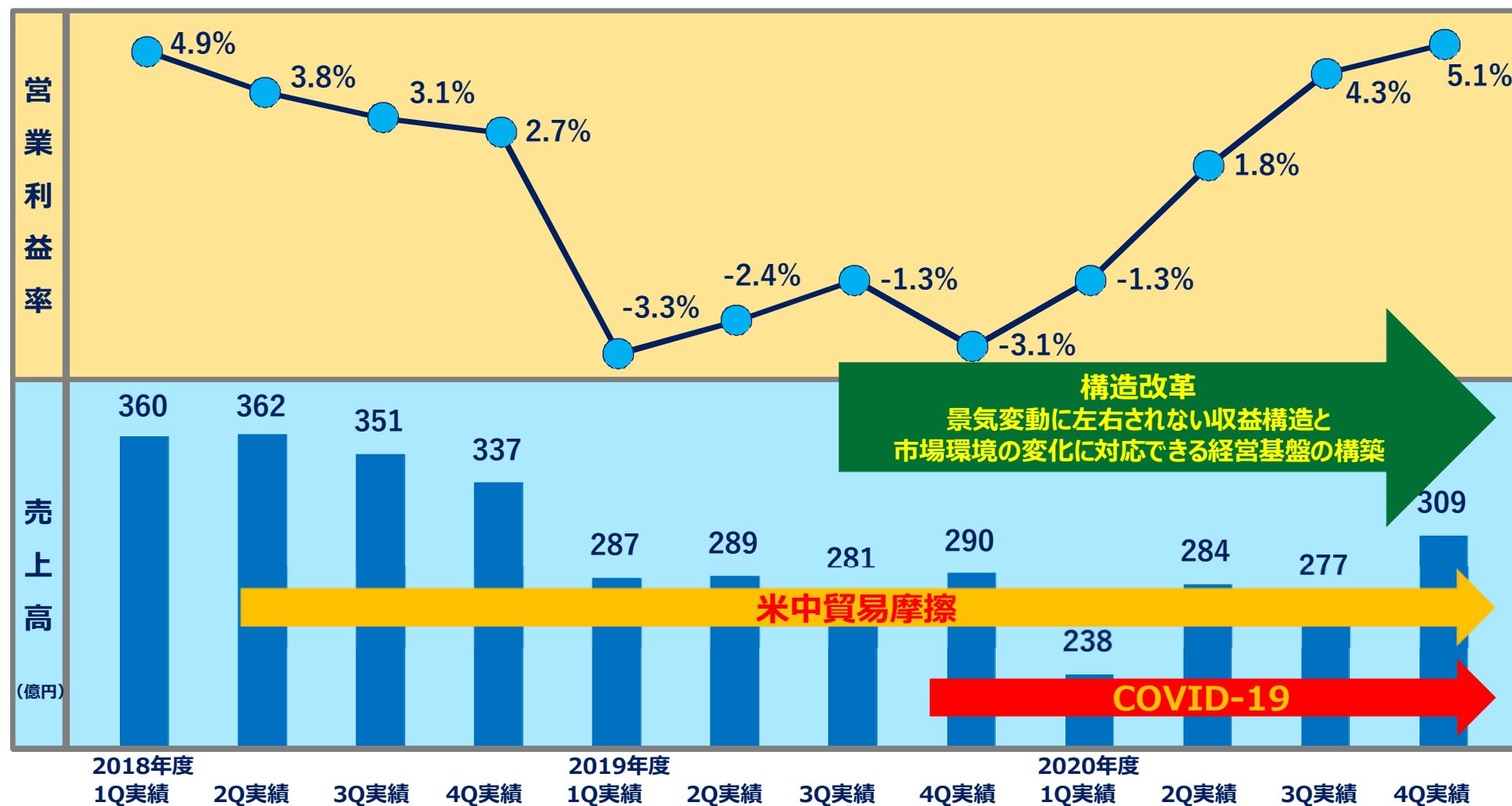
	2019年度実績	2020年度実績	2022年度目標
・売上高	1,145億円	1,107億円	1,400億円
・営業利益	▲28億円	29億円	100億円
・純利益	▲59億円	20億円	60億円
・有利子負債	612億円	530億円	500億円
・D/Eレシオ	1.4	1.1	1.2以下
・ROE	▲13.6%	4.5%	10%以上
・総資産回転率	0.8回転	0.8回転	1.0回転以上

1-1. 2020年度 対前年度 営業利益増減

収益(+)要因 ① 製造固定費圧縮 ② 販管費圧縮 ③ 材料・電力費低減 ④ コストダウン ⑤ 粗利増加
 収益(-)要因 ① 円高による為替差損 ② 売価変動 ③ 操業度悪化

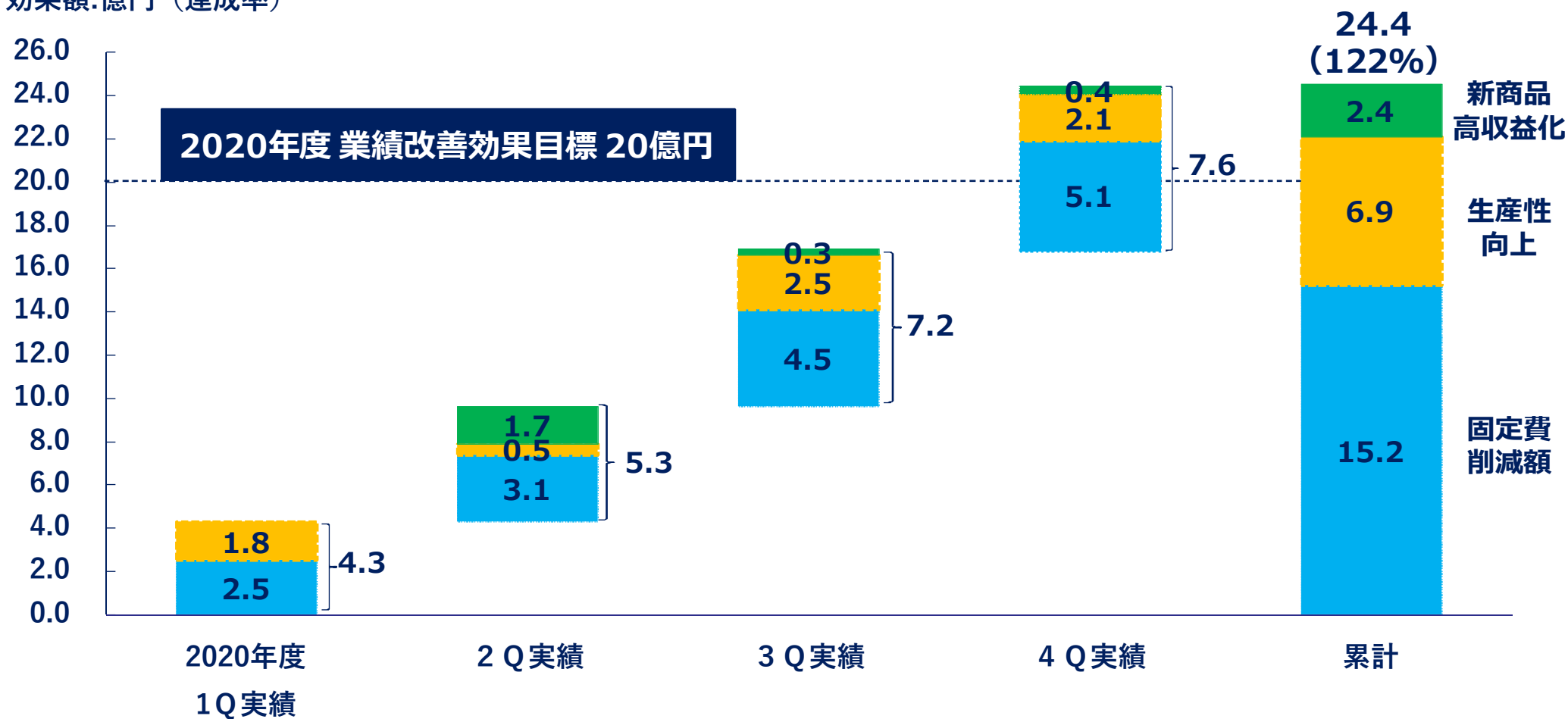


1-2. 売上高と営業利益四半期推移



1 - 3. 構造改革による業績改善効果（2020年度）

効果額:億円（達成率）



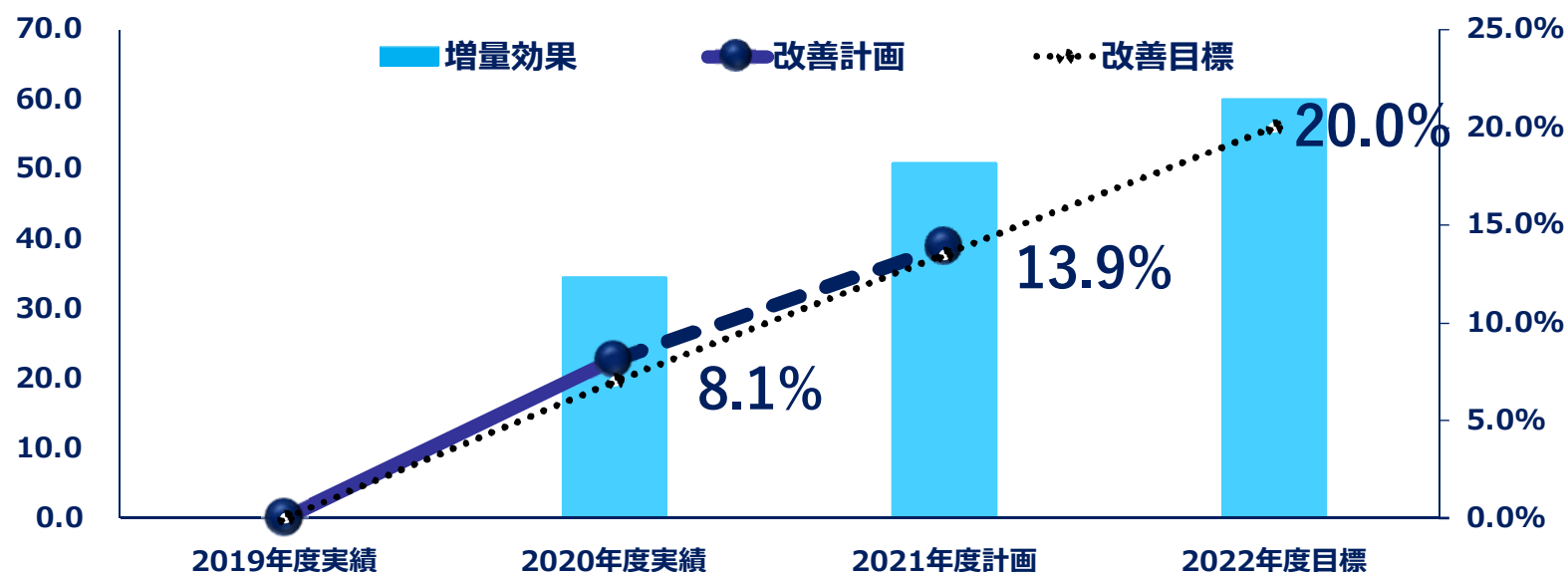
2. 2021年度経営方針

1) 確固たる収益体質への転換

■ OEE、TEEP&パーヘッド向上による増員・増備なき増量対応

増量効果 百万個／月

設備稼働改善率



■ スタッフの生産性向上

■ 標準化の推進

2. 2021年度経営方針

2) 次なる成長に向けて

■ 10年後、20年後に向けての成長戦略の立案

創業100周年創造プロジェクトを発足し、2021年中に長期計画を策定

■ 商品企画改革

■ スマートファクトリー構想の具現化

第9次中計	2020年度	2021年度	2022年度
◆ データ解析に基づくボトルネックの定量化と、工程の改善 ◆ 最適※ ¹ VSMへの転換と、自動化による自律的な工場の実現	※ ¹ スマート作業の定量化	生産※ ¹ スマート作業自動化	自動化対象拡大
	通信準備（設備LAN）	製造情報システム導入	※ ² MES導入
		生産計画システム選定	模擬実験

※¹VSMはValue Stream Mappingの略。 ※²MESはManufacturing Execution Systemの略。

3. 2021年度計画

	2020年度 実績（億円）	2021年度 計画（億円）	前期比	
			増減	増減率（%）
売上高	1,107.8	1,220.0	112.1	10.1%
営業利益	29.7	62.0	32.2	108.7%
売上高比率	2.7%	5.1%	2.4pt	－
親会社株主に帰属する当期利益	20.3	42.0	21.6	106.0%
売上高比率	1.8%	3.4%	1.6pt	－
ROA	1.5%	3.0%	1.5pt	－
ROE	4.5%	7.9%	3.4pt	－
設備投資	34.7	70.0	35.2	101.3%
減価償却費	57.4	60.0	2.5	4.4%
研究開発費	37.1	40.0	2.9	7.8%
平均為替レート USドル（円）	106.06	105.00	－	1.0%の円高
ユーロ（円）	123.70	126.00	－	1.9%の円安

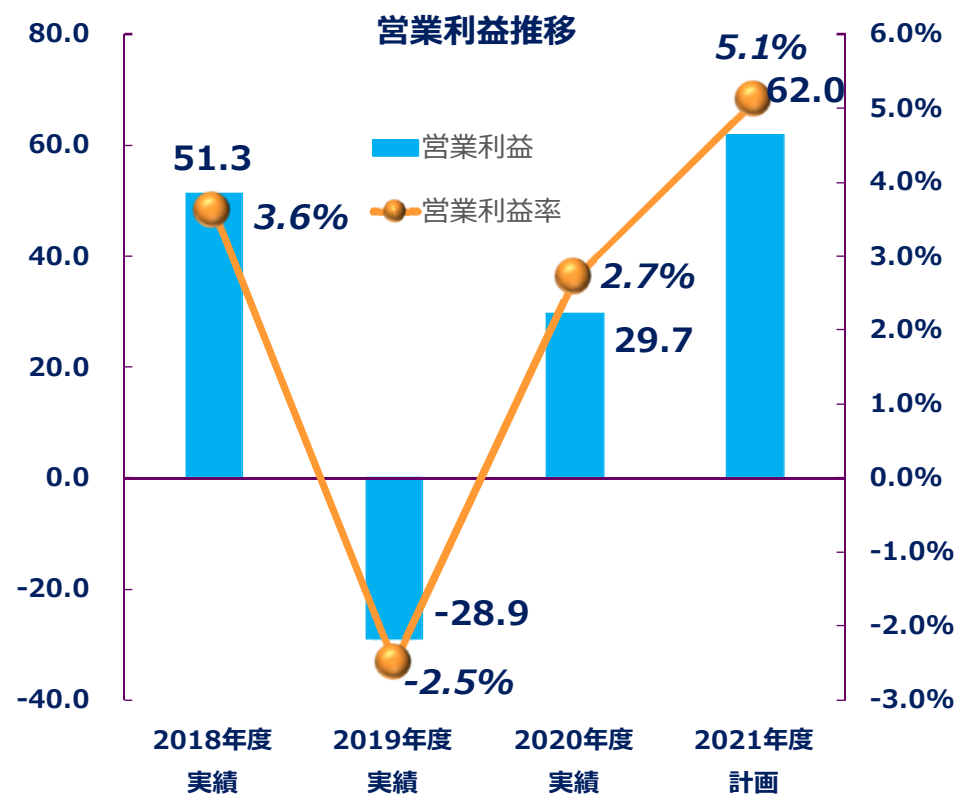
3-1. 2021年度計画 対前年度 営業利益増減

収益(+)要因 ① 操業度増加 ② 粗利増加 ③ コストダウン ④ 売価変動 ⑤ その他

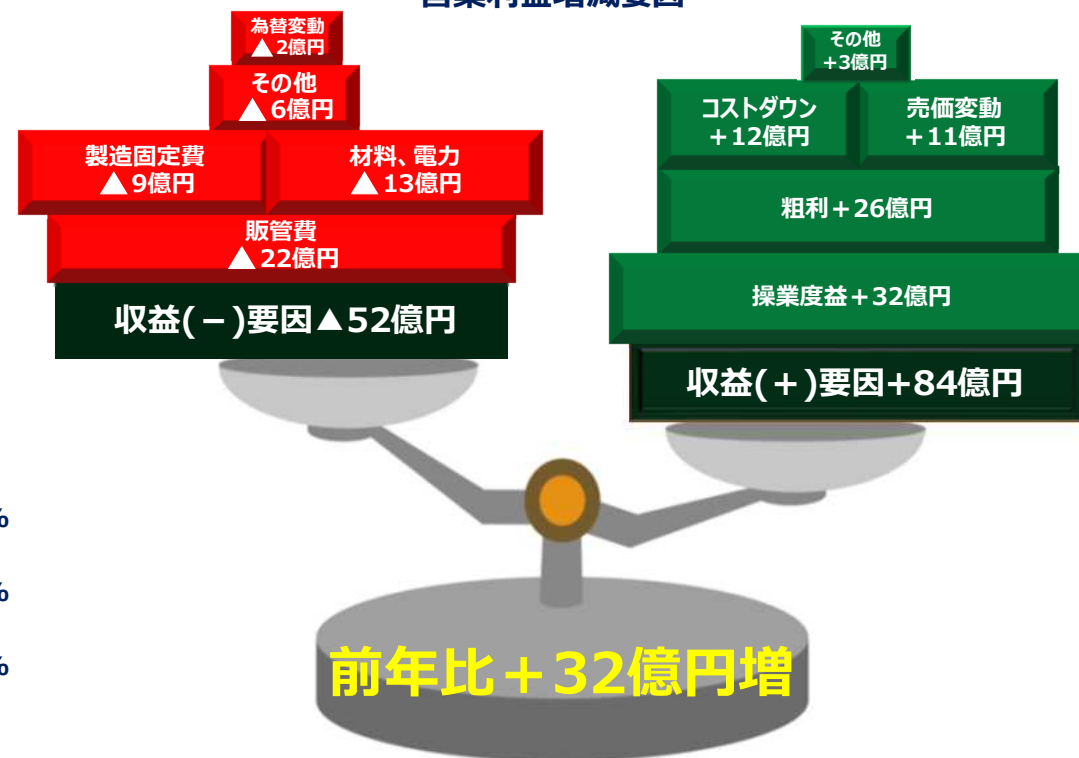
収益(-)要因 ① 販管費増加(物流費等) ② 製造固定費増加 ③ 材料、電力費高騰 ④ 円高による為替差損

営業利益 億円

営業利益率

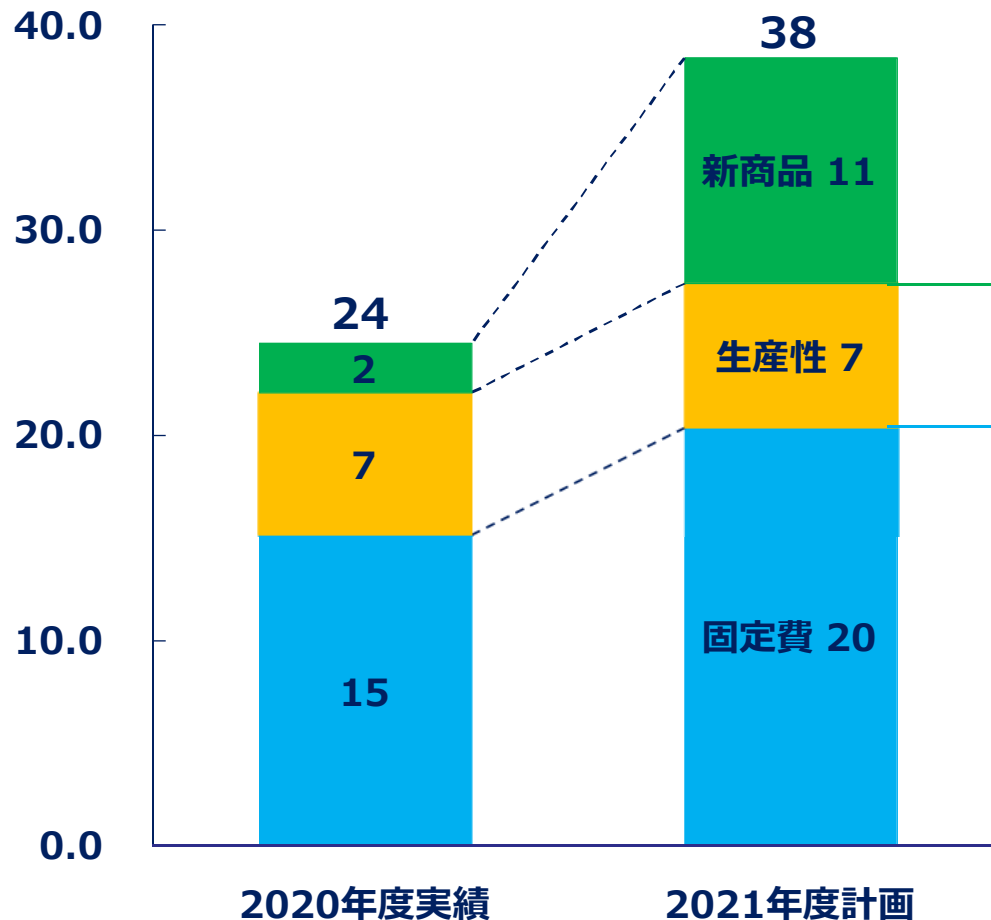


営業利益増減要因



3-2. 構造改革による業績改善効果（2021年度計画）

効果額 億円



■ 商品企画改革の本格的な効果の出現

2021年度以降、高付加価値で高収益製品の上市を予定

■ 設備稼働率目標の実行 ➡ 標準化の推進

■ 固定費の更なる削減

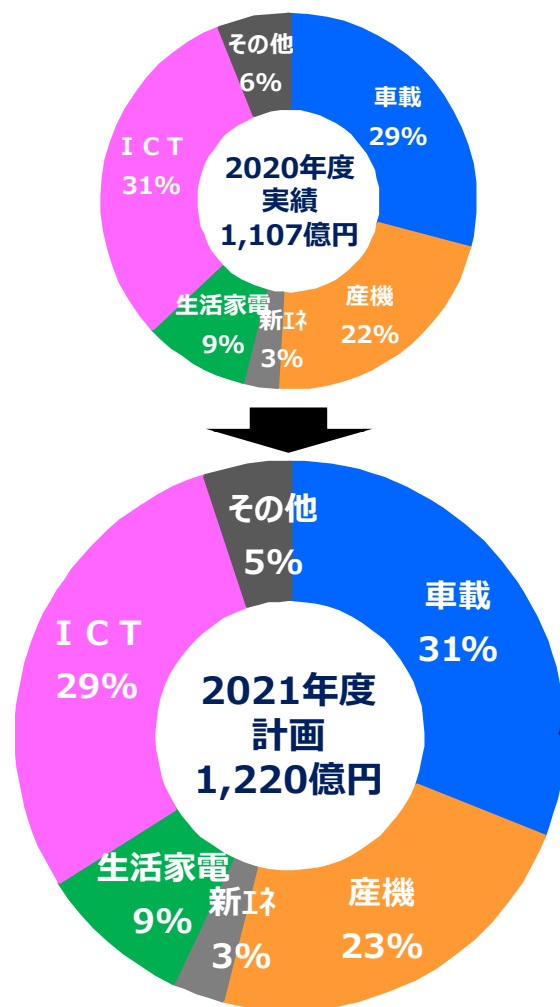
- ① 役員体制の見直し、本社組織の統廃合
- ② スタッフの生産性向上による人員の最適化
- ③ 設備投資の選択と集中による資金効率向上
減価償却費の圧縮

3-3. 2021年度製品別売上計画

一部、半導体不足の影響は出るものの、徐々に供給量が増加し、2ケタ成長の見通し

製品	2020年度 実績（億円）	構成比	2021年度 計画（億円）	構成比	増減額	増減率
アルミ電解	952.9	86.0%	1,069.0	87.6%	116.0	12.2%
内 導電性	152.8	13.8%	173.0	14.2%	20.1	13.2%
DLCAP™	33.6	3.0%	31.0	2.5%	△2.6	△7.8%
セラコン・バリスタ	25.6	2.3%	28.0	2.3%	2.3	9.3%
機構その他部品	26.2	2.4%	27.5	2.3%	1.2	4.9%
コンデンサ材料	49.0	4.4%	48.5	4.0%	△0.5	△1.1%
その他	20.4	1.8%	16.0	1.3%	△4.4	△21.7%
合計	1,107.8	100.0%	1,220.0	100.0%	112.1	10.1%

3-4. 2021年度市場別売上計画



主要3市場（車載・産機・ICT）売上実績および計画

売上高:億円

250

200

150

100

COVID-19

車載回復

半導体不足

半導体不足解消

2020年度
上期実績

下期実績

2021年度
上期計画

下期計画

車載

ICT

産機

● 構造改革の第2フェーズ「景気変動に左右されない収益構造と市場環境の変化に対応できる経営基盤の構築」

1. 確固たる収益体質への転換

- ・OEE、TEEP & パーヘッド向上による増員・増備なき増量対応
- ・スタッフの生産性向上
- ・標準化の推進

2. 次なる成長に向けて

- ・10年後、20年後に向けての成長戦略の立案
- ・商品企画改革
- ・スマートファクトリー構想の具現化

● 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について

・感染症予防の徹底

出社時のサーモグラフィによる検温の実施、手洗い、マスクの着用、社内行動履歴の記録、社内外会議のオンライン化、展示会などイベント対応の自粛などに努めています。

- ・日本ケミコングループは、地域住民の皆様、お客様、お取引先様、および全従業員の健康と安全を最優先に考え、政府方針に基づいて行動するとともに引き続き感染予防と感染拡大防止に取り組んでまいります。

感染症予防の徹底により、現状、生産に対する影響はほぼない状況です。

今後ともご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

〔注意事項〕

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測につきましては、本資料作成時点において入手可能な情報により当社が合理的に判断した予想であり、実際の業績は、今後、様々な要因により変動する場合があることをご承知おき下さい。

また、本資料に記載されている将来予想に関する事項についてその内容を更新し、公表する責任を負いませんのでご了承願います。

投資に関する最終決定につきましては、投資家の皆様ご自身の判断で行われますようお願い致します。

本資料の内容に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社及び各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承願います。

〔Note〕

The projected performance figures in this material are based on information available to Nippon Chemi-Con's management at the time this material was prepared.

There are many uncertain factors inherent in forecasting, and there might be cases in which actual results differ from forecast values. Nippon Chemi-Con undertakes no obligation to publicly update or revise any forward-looking statements included in this material.

If you are interested in investing in Nippon Chemi-Con, you are requested to make a final investment decision at your own risk.

Please note that neither Nippon Chemi-Con nor any third party providing information shall be responsible for any damage or loss you may suffer due to investment in Nippon Chemi-Con based on the information shown in this material.